

オープンデータシティ調査 中間報告資料

①外国人旅行者受入環境整備

1.将来像と国際イベントスケジュール

将来像	国際イベント スケジュール						
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
<p>[外国人観光客から見た将来像]</p> <p>○外国人観光客に対して、訪日直後にスマートフォンアプリ「パーソナルアシスタント」(仮称)を提供する。利用者の年齢・国籍・性別など属性情報、SNS履歴情報、旅行計画などの情報を取り込んで、利用者一人一人にカスタマイズする。旅行中の行動に合わせて、欲しい情報をベストのタイミング・場所で提供してくれる、秘書のような存在。具体的には、以下のような情報を提供する。</p> <p><移動案内> 利用者が行きたい場所を言うと、何時に何に乗っていけばいいか、どの道を歩いていけばいいか、リアルタイムに先導してくれる。</p> <p><観光・イベント情報> 利用者のニーズに合った観光地やイベントの情報を提示してくれる。一つの候補を挙げるだけでなく、複数を組み合わせてコースとして推奨してくれる。観光ツアーに関してもスケジュールや予算を加味して、お勧めのものを提示する。利用者が必要なタイミングで、神社での振る舞いなど伝統的作法や日本の歴史・文化について、コラムを提示してくれる。</p> <p><食> ハラル・ベジタリアンなどの考慮は勿論、個人の嗜好に合わせた飲食店を教える。現在地や目的地など、一日のスケジュールを考えて行きやすい飲食店を提示してくれる。飲食店では、自国の食文化との違いなどについてコラムを提供してくれる。</p> <p><宿泊施設> 日本文化を重視した施設、外国文化に合わせた施設など、その時々々の意向に合わせてお勧めの宿泊施設を提示する。旅行全体の費用やスケジュールなども考慮してくれる。日本文化を重視した施設では、風呂の入り方などルールの情報も提供する。</p> <p><翻訳機能> 会話相手の言語を判断し、リアルタイムで音声翻訳してくれる。また、カメラをかざせば、母国語に翻訳し読み上げる。</p> <p><決済機能> クレジットカードと紐づけられており、各種店舗や交通機関などで支払処理・現金引き出しが可能。</p> <p><緊急通知> 災害や事故などの情報が母国語でリアルタイムに届く。110番や119番に電話をかけた場合、自動で翻訳がなされる。</p> <p>○「パーソナルアシスタント」は、観光地や駅等に設置されたサイネージディスプレイにも導入されており、ディスプレイ前を通れば、個人向けの画面に変わり、周辺のお勧めスポットや商品などを提示し話しかけてくる。</p> <p>○外国人観光客の多いエリアでは、無料公衆無線 LAN の整備が済み、滞在期間中は一度ログインすれば、手続きなしで継続して利用できる。また、無線 LAN の設置場所は、屋内外の地図にシンボルマークで記載されている。</p> <p>○「パーソナルアシスタント」とも連動する GPS 環境が、屋外だけでなく、屋内にも配備され、常に自分のいる場所・位置に応じたサービスを「パーソナルアシスタント」を含む様々なアプリ(店舗・観光地作成のもの)から、プッシュで提供される。</p> <p>○外国人観光客の多いエリアの店員や市民には、おもてなし文化が浸透しており、多くの店舗では英語対応可能かつ他国の文化にも精通した人員が配備されている。交通案内や施設案内等の標識では、英語表記が必ずされている。</p> <p>[サービス提供者から見た将来像]</p> <p>○「パーソナルアシスタント」に集積された利用記録(訪問・移動履歴、食事履歴、閲覧した情報、翻訳機能を活用したタイミングなど)は、「パーソナルアシスタント」の機能向上に活用されるだけでなく、一般に公開され、サービス提供者などが自由に活用することができる。</p> <p>○国際空港及びその付近において、時期・時刻別の外国人観光客数とその動向記録に基づき、リソース最適化がなされている。具体的には、出入国審査窓口の増強、航空機の発着数の増加、空港から都市までのアクセスなどが、データに基づいて管理されている。</p>	<p>● リオ大会</p> <p>● 平昌大会</p> <p>● アジア冬季競技札幌・帯広大会</p> <p>● FIFA クラブ W 杯日本大会</p> <p>● バレーボール W 杯日本大会</p> <p>● FIS アルペン スキー W 杯 苗場大会</p> <p>● 伊勢志摩 サミット</p> <p>(毎年日本開催) セICOーゴールデンランプリ陸上 NHK 杯国際フィギュアスケート競技大会 東京マラソン、福岡国際マラソン ジャパン・オープン・テニス選手権 など</p> <p>● ラグビー W 杯 日本大会</p> <p>● バレーボール W 杯日本大会</p> <p>● 東京大会</p> <p>● 大阪 WMG ※</p> <p>他、国際学会、トリエンナーレ・ビエンナーレなどあり</p>						

※WMG=ワールドマスターズゲームス

2.検討動向

テーマ	検討動向			スケジュール						
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
無料 WiFi の整備	国の事業	総務省 観光・防災 WiFi ステーション整備事業	・H26 年度と H27 年度に渡り、観光拠点(観光案内所、文化財、自然公園、博物館等)及び防災拠点(緊急避難場所、避難所、役場本庁舎等)における公衆無線 LAN 環境の整備を行う地方公共団体等に対し、その事業費の一部を補助。現在、都道府県 6 件、市町村 31 件、第 3 セクター法人 5 件に補助が決定。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	国の検討組織・方針	総務省・観光庁 無料公衆無線 LAN 整備促進協議会 (SAQ ² JAPAN PROJECT)	・無線 LAN スポットの提供実態、導入に係るコスト負担、外国人旅行者のニーズ、ビジネスモデルの情報収集などの調査をし、整備方針を策定する予定。【整備促進 PT】 ・全国的な整備支援の方法、訪日外国人の訪問地や移動の中で認証がスムーズに行われる仕組みを検討。【整備促進 PT】 ・外国人旅行者への周知・広報の方法、シンボルマーク「Japan. Free WiFi」導入を検討。【周知・広報 PT】 ・認証の手続き簡素化方針を検討し、2015 年度に実証実験をする予定。【認証連携 PT】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	・観光ポータルサイトから無線 LAN スポットの情報提供を検討 ・観光に関連するスポットでの、無線 LAN 環境の整備・多言語対応。広域観光ルート、道の駅、スキーリゾート、公共交通(鉄道やバス等の車内を含む)、クルーズ船など。 ・文化財・博物館などの公共施設等の無線 LAN 環境整備。2020 年までに約 29000 箇所を整備する。 ・選手村の周辺 8 km 程度の範囲において無線 LAN 環境の整備促進 ・認証手続きの簡素化により、全国 20 万規模のスポットに 1 度でサインインできる仕組みの構築 ・シンボルマーク「Japan. Free WiFi」の普及、利用可能場所のオープンデータ化により、HP やアプリなどの媒体で効果的な発信を実施 ・無線 LAN 向けの周波数幅の拡大を推進 ・SIM カードやモバイル WiFi ルーターのサービス提供の促進(改正電波法に基づく)。国際ローミング料金の低廉化の促進。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021

テーマ	検討動向			スケジュール							
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
自治体の取組み	経済産業省 産業競争力会議	・無料公衆無線 LAN 環境の整備実施【改革 2020WG】 観光立国ショーケース：2015 年に特定の地方都市を選定、その後整備 成田空港・羽田空港ショーケース：空港内で整備 東京ユニバーサルデザイン・ショーケース：成田・羽田空港ターミナル、主要ターミナル駅、大会競技施設までのルート及び最寄り駅、東京の人気観光スポット及び最寄り駅等を結ぶ連続的なエリアで整備	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	観光立国ショーケースの地域選定	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		WiFi 環境整備の実現
	東京都 多言語対応協議会	・空港や旅客船ターミナルにおける無料 WiFi 環境の整備【交通分科会】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	WiFi 環境整備の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	外国人旅行者の満足度 90%以上、TOKYO CITY WiFi のサービス提供、700 基程度の WiFi アンテナ設置、都立宿泊施設での WiFi 整備約 440 施設で実現	
	東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・都立宿泊施設等における WiFi 整備の推進、「TOKYO CITY WiFi（仮称）」のサービス提供 ・WiFi を活用した災害時における通信手段の確保・情報発信の検討	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	外国人旅行者の満足度 90%以上、TOKYO CITY WiFi のサービス提供、700 基程度の WiFi アンテナ設置、都立宿泊施設での WiFi 整備約 440 施設で実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・無料公衆無線 LAN 環境整備の促進（海外アスリートに向けてキャンプ地、観光客向けの観光地や公共交通など）、	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
	オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020	・主要観光地や商店街での Free WiFi の整備	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト取組方針	・通信環境の充実に向けた WiFi アクセスポイント整備の推進	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	推進計画策定		
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2017 年度までを第 1 期推進期間、2021 年度までを第 2 期推進期間として実施。		
2020年東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気にするプロジェクト	・無料で、県内どこでも使いやすい WiFi 環境の整備	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現		
案内標識の設置	東京都 多言語対応協議会	・道路案内標識の改善【道路分科会】 ローマ字から英語表記への変更、ピクトグラムや路線番号の表示など ・観光案内サイン類の改善【道路分科会】 日英 2 言語表記の推進、施設表記やピクトグラムの充実、目的地への距離情報の表示など ・東京都内の英語対訳共通ルール及び対訳表の作成【道路分科会】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	課題整理、ステイクホルダーの合意形成、基本ルールの策定	
	東京都 新宿ターミナル協議会	・案内サインの英語表記の統一 ・乗換案内と商業広告の整理（現在は、混在している） ・共用スペースにおける案内サインや周辺案内図の表示内容を、設置者を越えて統一	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	整備計画の策定、改善策を準備実施	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	観光案内標識の設置：新規約 600 基、更新約 1000 基	
	東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」の改定 ・多言語に対応した観光案内標識の設置・更新	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	観光案内標識の設置：新規約 600 基、更新約 1000 基	
	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・道路案内標識、観光案内板、避難所誘導看板等の公共空間における多言語表記等の整備	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020	・観光案内表示の多言語化を促進	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現		
公共施設・設備の整備	国土交通省 地域公共交通確保維持改善事業	・鉄道駅におけるホームドア・エレベーターの整備、ノンステップバスの導入など、地域公共交通ネットワークの再構築に向けた事業。バス交通や離島航路・航空路といった生活交通の確保維持、鉄道駅等のバリアフリー化・公共交通の利用環境改善・地域鉄道の安全性向上など。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記事業内容の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	年間発着数約 8 万回の拡大	
	国土交通省 首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会	・羽田空港における飛行経路の見直し等の機能強化方策の具体化を検討	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	輸送運営計画の検討・作成	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	空港での入国審査最長待ち時間を 20 分以下に短縮	
	組織委員会 輸送連絡調整会議	・大会における大会関係者や観客等の輸送についての検討 ・オリンピックレーン・パラリンピックレーンの設置などについて具体的に検討する予定	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	年間発着数約 8 万回へ拡大	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	年間発着数約 8 万回へ拡大	
国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	・空港ゲートウェイ機能の強化、出入国手続の迅速化・円滑化、空港へのアクセス性改善を検討 ・貸切バスの供給確保、貸切バスによる路上混雑の解消を検討 ・IC カード・企画乗車券の利便性向上と海外旅行者に対する情報発信方法の検討 ・外国人が利用しやすいタクシーサービスの確立	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	年間発着数約 8 万回へ拡大		
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	年間発着数約 8 万回へ拡大		
国土交通省 交通政策審議会	・滑走路運用や飛行経路の見直しなど、空港処理能力の向上、【首都圏空港機能強化技術検討小委員会】 ・空港へのアクセス改善、列車遅延への対策実施【鉄道部会】 ・防災対策の強化、まちづくりとの連携など【鉄道部会】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現		
自治体の取組み	東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・交通機関・施設等の多言語対応の促進 ・相互利用可能な IC カードの開発・普及等の促進	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	液晶モニターをバスに 2016 年度までに 1306 両設置、地下鉄の新規車両に随時設置。券売機を随時更新。	
	東京都 東京都長期ビジョン	・都営交通における多言語対応の推進（多言語対応の液晶モニターの設置、券売機の対応言語拡大）	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	液晶モニターをバスに 2016 年度までに 1306 両設置、地下鉄の新規車両に随時設置。券売機を随時更新。	
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・成田空港へのアクセス整備、利便性及び安全性の向上 ・交通ネットワークの強化・充実 ・外国人にも使いやすいトイレの整備等	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現		
旅行関連施設・	国の検討組織・方	経済産業省 おもてなしプラットフォーム研究会	・おもてなしプラットフォーム（※）を利用して、ムスリム対応のレストラン情報など、各個人の属性に合わせた情報提供。※各種サービス間で各個人の ID を連携、自動的に個人を識別してサービスを提供できるようにするプラットフォーム	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現

テーマ	検討動向			スケジュール						
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
設備の整備	針	国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	・宿泊施設の供給確保の方針検討 ・美術館・博物館、観光施設等と相互利用可能な共通パスの導入 ・外国人旅行者の手荷物や買物品を一時預りし、空港・駅・ホテル等へ配送することで、旅行者が手ぶらで観光できる「手ぶら観光」の推進 ・クルーズ船による訪日観光の促進 ・ムスリム旅行者の一層の受入促進	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		クルーズ船により入国した観光客年間 100 万人の達成								
	自治体の取組み	東京都 多言語対応協議会	・宿泊施設内の各種情報（位置情報、設備の使い方、サービス内容等）の多言語による案内の促進【観光・サービス分科会】 ・宿泊施設外の各種情報（宿泊施設周辺の飲食店等施設情報、観光地等へのアクセス情報等）の多言語による案内促進【観光・サービス分科会】 ・飲食店における、店頭・ホームページにおける外国人にもわかりやすい店舗案内、メニュー・券売機等の表示の充実【観光・サービス分科会】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
			左記検討内容の実現							
		東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・外国語メニュー作成支援ウェブサイトの拡充 ・ムスリムなど多様な文化・習慣を持つ旅行者への対応 ・宿泊施設における 24 時間対応コールセンター導入支援、バリアフリー化支援	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		左記検討内容の実現								
		2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・宿泊施設等における多言語表記、スタッフの外国語対応力の向上 ・免税店の拡大 ・おいしい和食・郷土料理の提供 ・外国人向け旅行商品の開発、外国人に喜ばれるお土産の開発	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		左記検討内容の実現								
	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト取組方針	・商業施設等におけるかわさき基準認証福祉製品等の積極的な導入を推進 ・民間事業者との連携事業の検討（セミナーの開催、外国人向け観光案内ツールの作成等） ・多言語対応及び多言語情報発信の推進（119 番通報、観光スポット・練習会場付近のバス音声、防災施設、観光施設など） ・ビジットジャパン地方連携事業によるプロモーション活動の実施	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
	推進計画策定									
2020年東京オリンピック・パラリンピックで滋賀を元気にするプロジェクト	・土産品や免税店、飲食サービスの充実（県産品などの商品ラインナップの改善、表示の多言語表記など）	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
2017 年度までを第 1 期推進期間、2021 年度までを第 2 期推進期間として実施。										
経済環境の整備	国の検討組織・方針	経済産業省 おもてなしプラットフォーム研究会	・おもてなしプラットフォームを活用した、決済環境の整備（多様な決済手段による決済を可能にするとともに、決済可能店舗の拡充）※各種サービス間で各個人の ID を連携、自動的に個人を識別してサービスを楽しむことができるようになるプラットフォーム	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	左記検討内容の実現									
自治体の取組み	東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・クレジットカード決済の促進 ・海外発行クレジットカード対応の ATM 設置の促進	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
左記検討内容の実現										
緊急時・災害時対応の充実	国の検討組織・方針	厚生労働省 医療機関における外国人患者受入環境整備	・外国人向け医療コーディネーターや医療通訳の配置を目指し、拠点となる病院を整備するため、モデル事業を実施。補助金を選定病院へ H26 年度 8 件、H27 年度 10 件（予定）に支給。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		モデル事業を実施								
		内閣府 避難場所等のピクトグラムに関する関係省庁連絡会議	・指定避難所と指定緊急避難場所の周知に際して、区別を明確にする必要があり、避難場所等のピクトグラムについて、その整備方法を検討。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		検討結果を報告								
		総務省 救急業務のあり方に関する検討会	・外国人来訪者等とのコミュニケーションの円滑化等により、迅速かつ的確な救急搬送・熱中症防止の実現 ・スマホ等を利用した音声以外の 119 番緊急通報手段の導入・普及 ・多言語対応の全国版防災アプリの整備等	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	スマホ等を利用した音声以外の 119 番緊急通報手段の実証検証、多言語対応の全国版防災アプリの実証検証									
	自治体の取組み	国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	・観光情報や公共交通機関の運行情報、緊急時における災害・避難情報の配信手段及び内容の検討。 ・外国人旅行者向け災害時情報提供アプリである「Safety tips」に、従来の地震、津波情報に加え、新たに局地的・集中的な大雨、暴風、大雪、高潮、大規模な火山噴火などの気象情報を提供。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		都道府県毎に最低 1 ヶ所以上の外国人旅行者受入可能で幅広い症例に対応できる医療機関を選定								
		経済産業省 産業競争力会議	・観光立国ショーケースの一環として、アプリやデジタルサイネージを活用し、個人属性（言語等）に応じた災害情報等を効果的・効率的に提供できる環境構築【改革 2020WG】	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		アプリ・デジタルサイネージの整備								
東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針		・「災害時初動対応マニュアル」の周知・活用 ・WiFi やデジタルサイネージを活用した災害時における通信手段の確保・情報発信	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
左記検討内容の実現										
東京都 東京都長期ビジョン	・英語対応救急隊の整備	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
研修・育成を行い、14 署 36 隊を運用する体制を構築										
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・犯罪被害外国人観光客の増加防止に向けて、対策を検討	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
左記検討内容の実現										
オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020	・医療通訳や災害時の情報提供の体制づくりに寄与する人材を育成	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
左記検討内容の実現										
2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト取組方針	・防災施設における多言語化の検討 ・119 番通報の多言語化対応	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
推進計画策定										
2017 年度までを第 1 期推進期間、2021 年度までを第 2 期推進期間として実施。										
外国	国の検討	国土交通省	・観光案内所、道の駅、駅、郵便局、コンビニエンスストア、アンテナショップにおける観光案内機	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021

テーマ	検討動向			スケジュール	
	種類	名称	検討内容		
人おもてなし人材の育成	討組 織・方 針	観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	能の強化 ・我が国の生活習慣やマナーに関する情報に関して、旅館や温泉などの観光スポットへの受入側マニュアル等の配布 ・外国人旅行者の要望や不満の声について、SNS を活用した口コミやアンケート等を通じて、定期的に調査・公表し、検討 ・外国人旅行者への接遇向上を図るため、e-learning や検定制度を盛り込んだ研修プログラムを構築	全ての都道府県において、広域観光情報を提供するカテゴリ-2以上の観光案内所を設置	
		東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・区市町村等と連携した観光ボランティアの裾野の拡大 ・中学・高校生を対象として、観光ボランティアの候補生となる「おもてなし親善大使」の育成	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 観光ボランティアを約 3000 人育成、おもてなし親善大使を約 1000 人育成	
	自治体 の取組 み	東京都 東京都長期ビジョン	・警察官の語学力を向上 ・外国人おもてなし語学ボランティアの育成	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 警察官向け語学研修を 2015 年度 3 回、2016 年度 3 回、2017 年度 7 回実施。語学ボランティア育成講座を実施し、2015 年度 3000 人、2016 年度 10000 人、2017 年度 10000 人を育成。	
		2020 年東京オリン ピック・パラリンピックに向 けた千葉県戦略	・外国語観光ボランティアガイド、語学ボランティアなどの人材育成 ・学校や地域における外国人とのコミュニケーション力の向上 ・外国人とのふれあいの場の提供 ・世界各国の生活習慣や食文化への配慮を促進	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 左記検討内容の実現	
		オリンピック・パラリン ピックのための神奈川ビジョ ン 2020	・県内の観光関係者を対象としたセミナーの開催などにより、「おもてなし力」の向上 ・次世代を担う子ども・若者の異文化理解やコミュニケーション能力の向上 ・グローバル人材の育成や神奈川と他国を結ぶネットワークの拡大	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 左記検討内容の実現	
		2020 年東京オリン ピック・パラリンピックで滋賀 を元気にするプロジェ クト	・外国人旅行者への理解促進と歓迎する機運の醸成（宿泊・観光事業の従事者、地域住民等を対象に、講座を開発・実施し、他国の文化・歴史・伝統・習慣・宗教・言語といった知識を習得させる等）	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 左記検討内容の実現	
通訳・ 翻訳サ ービス の提供	国の検 討組 織・方 針	組織委員会 東京 2020 大会開 催基本計画	・オリンピック・パラリンピック競技大会等国際大会の経験が豊富で多くの言語に対応できる適切な通訳及び翻訳スタッフの育成。 ・大会用語に対する確固たる知識を備え、元の言語のニュアンスも含め正確性を期した、通訳、翻訳機能を提供。	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 ICT 技術を活用した自動通訳機能の構築。言語サービスを提供できる環境の整備（人によるものを含む）。 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 ICT 技術を活用した自動通訳機能の提供。全てのオリパラ競技会場で言語サービスを提供（非競技会場でも、要請により提供）。議事録・速報等の自動通訳機能を提供。 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 公式な報告書等を自動通訳機能を提供。	
		国土交通省 観光立国実現に向 けたアクション・プロ グラム 2015	・地域における多様な通訳ガイドのニーズに応えるため、自治体が独自に育成する「地域ガイド制度」を導入。全国ガイドのリストを国レベルで一本化・システム化することにより、旅行者が自ら必要な通訳ガイドに容易にアクセスできるようにする。また、通訳案内士・特例ガイド・ボランティアガイド等を養成し、その積極活用・ネットワーク化の仕組みを構築 ・多言語対応の強化（空港、駅・車両、道路、旅客船ターミナル、美術館・博物館、自然公園、飲食店、多言語翻訳アプリ・ナビゲーション・地図の開発など）	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 左記検討内容の実現	
		内閣府 総合科学技術・イノ ベーション会議 2020 年オリンピック・パ ラリンピック東京大会に 向けた科学技術イノ ベーションの取組に関する タスクフォース	・多言語音声翻訳システムの研究開発（国際線機内、交通機関の看板、ショッピング、怪我など緊急時のレスキュー、観客同士の交流、観光地など）【スマートホスピタリティ】	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 精度向上に関する要素技術の開発、モデル地域で集中的に開発した要素技術の実証 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 開発した要素技術を組み合わせた大規模社会実証を実施	
		経済産業省 産業競争力会議	・多言語音声翻訳対応の拡充【改革 2020WG】（観光立国ショーケース、成田空港・羽田空港ショーケース、東京ユニバーサルデザイン・ショーケースで検討）	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 他言語音声翻訳技術の研究開発及び技術実証 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 大規模社会実証、社会実装・実用化	
	自治体 の取組 み	民間組織 デジタルサイネージコン ソーシアム	・個人属性に応じた情報提供の一環として、多言語対応を検討。コンソーシアム内に、オリンピック委員会を立ち上げ、今後も検討を継続。	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 定例会を開催し、検討を継続	
		東京都 外国人旅行者の受入 環境整備方針	・観光案内窓口等への通訳アプリの導入、デジタルサイネージを通じた多言語による情報提供を促進	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 歩行空間におけるデジタルサイネージを約 100 基設置	
		2020 年東京オリン ピック・パラリンピックで滋賀 を元気にするプロジェ クト	・外国人旅行者向けのガイド等の整備、観光・宿泊施設の案内表示の多言語化	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 左記検討内容の実現	
	観光 案内・ コンシ エール 機能の 拡充	国の検 討組 織・方 針	内閣府 総合科学技術・イノ ベーション会議 2020 年オリンピック・パ ラリンピック東京大会に 向けた科学技術イノ ベーションの取組に関する タスクフォース	・電子地図など空間情報インフラの整備（位置測位など）【スマートホスピタリティ】	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 東京駅周辺での実証 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 他地域への展開
			経済産業省 産業競争力会議	・主に東京ユニバーサルデザイン・ショーケースの一環として、デジタルサイネージを用いた、個人属性に応じた観光情報の提供を検討【改革 2020WG】	2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 高精度測位環境下による歩行者誘導案内などの様々なサービスの展開 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 個人属性に応じた情報発信の検討

テーマ	検討動向			スケジュール						
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
自治体の取組み				上記の機能などを備えたデジタルサイネージの普及						
		東京都外国人旅行者の受入環境整備方針	・羽田空港国際線ターミナル内の観光情報センター利用時間を24時間化 ・都内全域での窓口数の拡充・機能強化 ・観光ボランティアが、街なかを巡りながら旅行者に声をかけ、目的地までの経路など、観光に必要な情報の提供をタブレット端末も活用して多言語で行う「街中観光案内」の実施	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	・外国語対応の観光案内所の設置 ・タブレット端末向けの情報提供システム、コンシェルジュ機能の検討 ・外国人観光客向け情報提供の充実	左記検討内容の実現						
		2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたたわさきプロジェクト取組方針	・観光案内所における外国語案内の提供	推進計画策定						
				2017年度までを第1期推進期間、2021年度までを第2期推進期間として実施。						
				2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021

3.オープンデータにより提供できるサービス

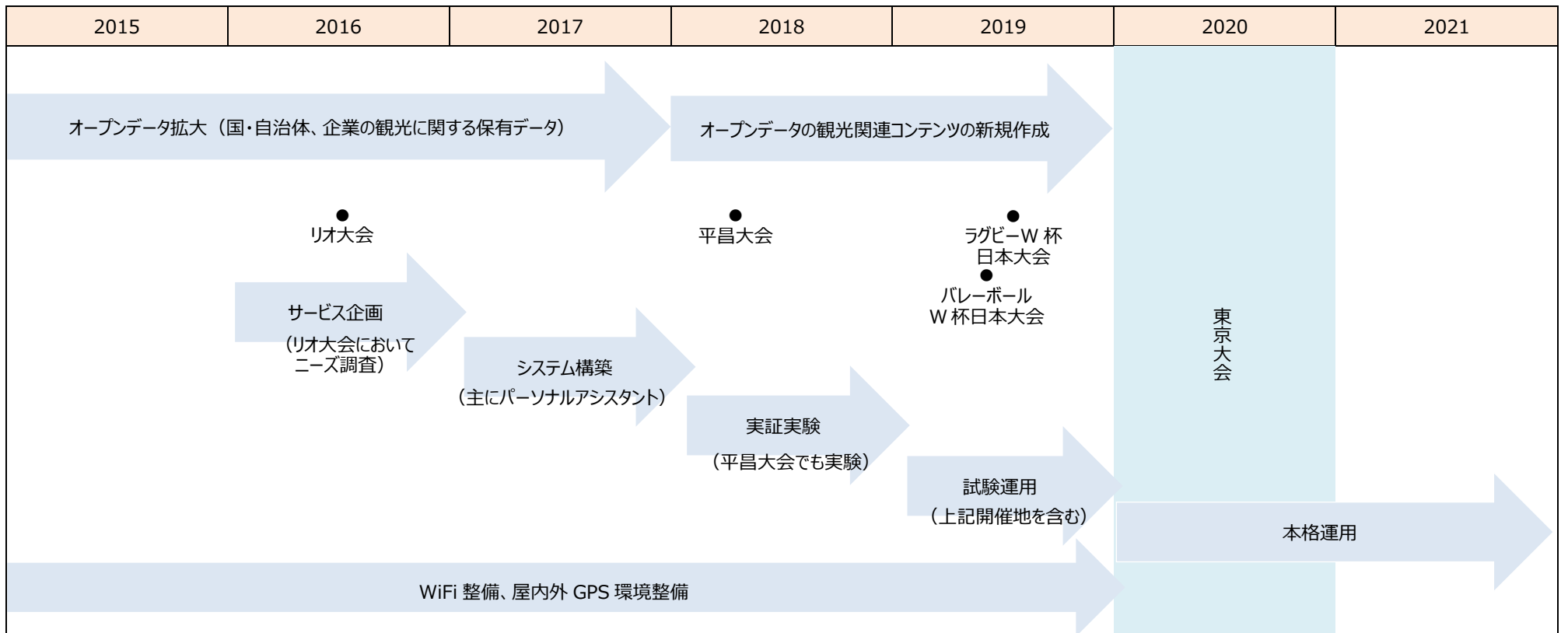
活用シーン	対象	名称	サービス例	活用するオープンデータ
オープンデータによる拡散・普及	外国人旅行者	情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における移動案内補助	・「パーソナルアシスタント」において、利用者の旅行計画から、目的地までの移動案内を自動的に行う機能。屋内外GPS情報から現在地を正確に把握し、歩行時及び交通機関利用時にどこへ行くべきか指示を出してくれる。 利用者の嗜好・状況に合わせて、効率的な行き方、風景を楽しめる行き方などを多様な提案をする。 ・屋内外地図情報・施設情報・交通機関情報などがオープンデータとなることで、一つの機能ですべての移動行動を補助できる。	・地図情報（屋内外） ・施設情報 ・交通機関情報（路線、駅位置、時刻表、料金、運行状況など） ・交通機関における多言語表記・多言語対応スタッフの有無 ・天気情報
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における観光・イベント案内補助	・「パーソナルアシスタント」において、利用者の属性情報・SNS履歴情報・旅行計画などから、 個人の嗜好に合わせて観光地・イベント・観光ツアーなどを提示する機能。旅行計画で登録された内容だけでなく、ニーズに合うと判断した情報は自ら提案する。 ・観光地情報・イベント情報などがオープンデータとなることで、有名な観光地だけでなく、多種多様なスポットから行く場所を選ぶことができる。	・観光地情報（観光施設、観光ルート等を含む） ・イベント情報 ・観光ツアー情報 ・観光施設における多言語表記・多言語対応スタッフの有無 ・天気情報 ・日本の歴史・文化のコラム ・観光に関する伝統的手法のコラム（神社仏閣での振る舞いなど）
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における飲食案内補助	・ ハラール・ベジタリアンなどの考慮は勿論、個人の嗜好に合わせた飲食店を教えてくれる機能。 現在地や目的地など、一日のスケジュール等を考慮した上で、お勤めの飲食店を提示してくれる。飲食店に入店後には、自国の食文化との違いなどコラムを提供してくれる。 ・観光パンフレットなどで選ばれた店舗しか知ることができなかったが、飲食店情報がオープンデータ化されることで、日本人にある多くの店舗から選ぶことができる。	・飲食店情報 ・ハラール・ベジタリアン対応の有無情報 ・飲食店における多言語表記・多言語対応スタッフの有無 ・日本の食事に関するコラム（日本食とは、箸の使い方、そばの食べ方など）
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における宿泊施設案内補助	・ 日本文化を重視した施設、外国文化に合わせた施設など、その時々意向に合わせてお勤めの宿泊施設を提示する。 旅行全体の費用やスケジュールなども考慮してくれる。また、日本文化を重視した施設では、風呂の入り方などルールの情報も提供する。	・宿泊施設情報 ・宿泊施設における多言語表記・多言語対応スタッフの有無
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における翻訳補助	・会話相手の言語を判断し、リアルタイムで音声翻訳をしてくれる。また、カメラをかざせば、母国語に翻訳し読み上げる機能。	・多言語辞書データベース
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における決済補助	・「パーソナルアシスタント」はクレジットカードと紐づけられており、各種店舗や交通機関などで支払処理を行える。また、日本円の現金引き出しも各施設で可能。	・電子決済対応店舗
		情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」における緊急時の連絡補助	・ 災害や事故・犯罪などの情報が母国語に翻訳され、配信される。災害や事故・犯罪などの情報が各種サービスやアプリに付加されることで、それらが発生した際に、（連絡経路が増え）知ることができる可能性が高まる。 ・緊急時に、110番や119番に電話を掛けた場合、自動で翻訳がなされる。 ・病院情報には、	・自然災害の発生情報 ・犯罪や事故などの発生情報 ・警察活動情報 ・病院外国人対応スタッフの有無
		医療機関の多言語表記・多言語対応スタッフの把握	・ 多言語対応した医療機関に行くことができ、体調を崩した際などでも支障なく医療行為を受けることができる。	・医療機関施設情報 ・医療機関における多言語表記・多言語対応スタッフ

				フの有無
		交通標識・施設案内標識の活用	<p>・交通や施設案内標識の利用が促進され（標識の意味が認知され）、標識用途以外にも地図アプリ・歩行支援アプリなどに活用される。</p> <p>・ひいては、外国人との通常のコミュニケーションにおける表現手段として利用される（例えば、チャットなどの絵文字として活用など）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通標識 施設案内標識
		WiFi利用可能エリアの通知	<p>・屋外地図や施設内地図などにWiFi利用可能エリアの情報が組み込まれ、どこでインターネットに接続できるかが簡単に分かる。</p> <p>・また、WiFi利用可能であることを示すシンボルマーク（ピクトグラム）をオープンデータ化することで、実際の現場においても、すぐに把握することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> WiFi設置場所 WiFi設置場所を示すシンボルマーク
	サービス提供者	おもてなし教材の展開による普及・啓発の促進	<p>・おもてなし教材が普及し、地域コミュニティやボランティア団体等においておもてなし対応が促進される。現在以上に、おもてなし文化を（実態を伴った）日本観光の売りにすることができる。他には、おもてなし教材の内容を用いた、学習ゲームや検定などの各種アプリが作成される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> おもてなし教材（日本国としての観光誘致方針・提供したい旅行体験像、外国人とのコミュニケーション等における注意事項など）
		交通標識・施設案内標識の統一化	<p>・交通や施設案内標識の利用が促進され（標識の意味が認知され）、公式の交通標識や施設案内標識以外においても、標識としての利用が広がる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通標識 施設案内標識
リアルタイムデータを用いたサービス提供	外国人観光客	観光・食・イベントなどの来訪者数情報から人気度（混み具合）の把握	<p>・「パーソナルアシスタント」では各観光地や飲食店、イベントなどの来訪者数を計測しているため、その情報をオープンデータとして公開することで、「パーソナルアシスタント」はもちろん、様々なアプリやサービスで、各地の観光客の人気度（混み具合）を把握することが可能。（位置情報の粒度の調整、個人を特定できない加工は必要）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「パーソナルアシスタント」の利用記録 利用者の属性情報（国籍・年代・性別等）、利用者の嗜好タイプ、旅行計画 出発地・経路・到着地など移動情報 観光・食・宿泊施設・イベントなどのページ閲覧及び申込み結果
	サービス提供者	ツアー一行の位置情報を活用した、サービス提供	<p>・「パーソナルアシスタント」と連携したツアーに関して、ツアー一行の位置情報をオープンデータにする。ニーズに沿う商品を扱うサービス事業者などは、ツアーの現在位置を把握しその場に赴き、商品の販売をする。（ツアー会社単位で権利関係など調整が必要）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客向けツアーの実施状況（ツアー一行の位置情報）
		電車やバスなどのアナウンス内容の変更	<p>・個別の電車やバスなどの利用者数が把握可能。その情報をオープンデータとして活用することで、電車やバスなどのアナウンス内容を、他言語対応など変更が可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関における観光客の移動情報（個人ではなく全体動向）
		各地の電子掲示板の表示内容の変更	<p>・「パーソナルアシスタント」では観光地など各地の来訪者数が把握可能。その情報をオープンデータとして展開することで、電子掲示板（標識含む）の表示内容を、多言語対応など変更が可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「パーソナルアシスタント」の利用記録 利用者の属性情報（国籍・年代・性別等） 出発地・経路・到着地など移動関連情報
		交通機関の運行スケジュール・対応スタッフの変更	<p>・観光客の移動情報（個人ではなく全体動向）が「パーソナルアシスタント」の利用記録から明らかになる。各交通機関及び施設の利用者数及びその属性情報などが把握でき、それぞれの事業者は、リアルタイムに運行スケジュールや対応スタッフの数・他言語話者の配備ができる。</p> <p>・リアルタイムで入国者数や出国者数が分かるため、国際空港及びその周辺交通機関の運行スケジュール等を改善できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「パーソナルアシスタント」の利用記録 利用者の属性情報（国籍・年代・性別等）、利用者の嗜好タイプ、旅行計画 公共交通機関における観光客の移動情報（個人ではなく全体動向） 入国者数・出国者数
		入国者数や出国者数に応じた国際空港周辺施設・交通機関の運用改善	<p>・時期・時刻ごとの入国者数や出国者数の統計情報がオープンデータ化されることで、入国者数や出国者数を予め想定することが可能となり、国際空港周辺の交通機関（鉄道・バスなど）の運行スケジュールを改善できる。</p>	
ログデータの活用	外国人観光客	情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」の利用記録を活用した、個人カスタマイズ機能の向上	<p>・「パーソナルアシスタント」の利用開始時には、利用者の国籍・年代・性別等といった属性情報、SNS履歴情報、旅行計画などを取得するため、その情報に紐づいたアプリの利用記録が得られる。その利用記録を収集し、「パーソナルアシスタント」の個人カスタマイズ機能を向上させる。例えば、好みに合わせた観光ルートや飲食店などを推奨したり、興味のあるりそうなコラムを提示する機能を高める。</p> <p>・他のアプリやサービスにも、属性情報に紐づいた利用記録がオープンデータとして提供される。そのデータを活用して、他アプリやサービスにおいて個人カスタマイズ機能が構築・改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「パーソナルアシスタント」の利用記録 利用者の属性情報（国籍・年代・性別等）、利用者の嗜好タイプ、旅行計画 出発地・経路・到着地など移動関連情報 観光・食・宿泊施設・イベントなどのページ閲覧及び申込み結果 翻訳機能を用いた場所 推奨する観光ルートの採否 常識やルールなどのコラム閲覧結果 等
	サービス提供者	情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」の利用記録に基づいた、サービスの設計改善	<p>・「パーソナルアシスタント」の利用記録を集積し、「パーソナルアシスタント」自体のサービス設計やコンテンツ内容を改善する。例えば、利用者への情報提供方法の改善、人気コンテンツの増加などに繋げる。</p> <p>・交通機関やサービス事業者等にも、オープンデータとして利用記録が共有・展開されるため、運行スケジュールの最適化や商品ラインナップの変更などに活用する。</p> <p>・デジタルサイネージごとの利用記録も同様に活用可能であり、特定地域にはどのような観光客が訪れるか、また訪れた際にほしい情報などが明らかになり、周辺交通機関や施設等の改善に繋がる。</p> <p>・利用記録がオープンデータとなっているため、外国人観光客の性質や行動特性を読み解く</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「パーソナルアシスタント」の利用記録 利用者の属性情報（国籍・年代・性別等）、利用者の嗜好タイプ、旅行計画 出発地・経路・到着地など移動関連情報 観光・食・宿泊施設・イベントなどのページ閲覧及び申込み結果 翻訳機能を用いた場所 推奨する観光ルートの採否 常識やルールなどのコラム閲覧結果 等

			<p>様々な分析が実現され、(特定のサービスに限らず)幅広く外国人観光客に適応したサービスが実現される。</p>	<p>・利用記録を用いた、外国人観光客の動向分析結果</p>
	<p>情報プラットフォーム「パーソナルアシスタント」の利用記録に基づいた、公共設備の改善</p>	<p>・「パーソナルアシスタント」の利用記録を集積し、公共設備事業者に展開することで、整備改善に繋げる。例えば、翻訳機能を使用した場所から、標識の内容や場所の変更を行ったり、交通事故に会った情報から、交通ルールに関する情報提供のタイミングを検討する等が挙げられる。</p> <p>・デジタルサイネージごとの利用記録も同様に活用可能であり、特定地域にはどのような観光客が訪れるか、また訪れた際にほしい情報などが明らかになり、周辺公共設備の改善に繋がる。</p>	<p>・「パーソナルアシスタント」の利用記録</p> <p>・利用者の属性情報（国籍・年代・性別等）、利用者の嗜好タイプ、旅行計画</p> <p>・出発地・経路・到着地など移動関連情報</p> <p>・観光・食・宿泊施設・イベントなどのページ閲覧及び申込み結果</p> <p>・翻訳機能を用いた場所</p> <p>・推奨する観光ルートの採否</p> <p>・常識やルールなどのコラム閲覧結果 等</p>	

4.実現に向けた課題とマイルストーン

4.1.マイルストーン



②海外への和食や食文化のPR

1. 将来像と国際イベントスケジュール

将来像	国際イベント スケジュール						
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
<p>【日本に関心を持ってもらう】</p> <p>・各国で開催される見本市に関する情報や海外のプロガーから発信される和食等に関する情報が広く流通することにより、和食・日本食文化に馴染みがない外国人に和食に関心をもってもらい、好んでもらうことの契機とすることができるようになる。</p> <p>【日本旅行の計画を立てる】</p> <p>・日本旅行の計画を立てる際、ガイドブックには掲載されていない、日本食に関する体験型イベント情報や地方の特産物の情報などを広く情報提供できるようにすることで、日本に複数回来ている外国人に対しても、新たな日本の魅力を発信できるようにする。</p> <p>【訪日中】</p> <p>・和食・食文化に関する飲食店情報、和食、日本食文化など各種情報がオープンデータ化することで、外国人が来日した際、利用者のニーズに合った情報を提供できることに加え、利用者のアプリ等のアクセス状況を分析することにより、よりの確かな情報提供ができるようになる。</p> <p>【帰国後】</p> <p>・海外の日本食レストランや日本食材を扱う店舗情報がオープンデータとなることで、日本で気に入った和食や日本食文化について、利用者の国にある日本食レストランや日本食材を扱う店舗情報を提供することができるようになる。これにより、海外の日本食レストラン及び日本食材を扱う店舗が活性化し、日本食材の輸出の向上に繋がる。</p> <p>・訪日経験者のブログや SNS などの情報がオープンデータとなり、海外での和食、日本食文化の認知度が高まることで、今まで日本に来たことがない人の日本への関心を高めることにより訪日外国人の増大にも効果が期待できるようになる。</p>							

※WMG=ワールドマスターズゲームス

2. 検討動向

テーマ	検討動向			スケジュール						
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
海外でのPR	国の事業	総務省 地域の創意工夫による地域経済活性化に資する放送コンテンツ海外展開モデル事業	・各地域の放送局等が、地場産業や地方自治体等と連携し、日本の各地域の魅力ある放送コンテンツ（地域産品や食文化の紹介など）を発信することにより、地域経済活性化に資する放送コンテンツの海外展開モデル事業を構築し、コンテンツの海外展開に関する取組を促進。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		外務省 在外公館を活用した「地方の魅力発信プロジェクト」	・地方自治体等が、海外で物産展や観光誘致事業を行う際に、在外公館施設（公邸、広報センター、多目的ホール等）を活用する。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		農林水産省 食文化・食産業のグローバル展開とFBI戦略	・日本の食文化の普及に取り組みつつ、日本の食産業の海外展開と日本の農林水産物・食品の輸出促進を一体的に展開することにより、グローバルな「食市場」（今後10年間で340兆円から680兆円に倍増）を取り込むことが重要。 このため、①世界の料理界での日本食材の活用推進（Made FROM Japan）②日本の食文化・食産業の海外展開（Made BY Japan）③日本の農林水産物・食品の輸出（Made IN Japan）の取組を一体的に展開していく。 （この取組を、FROM、BY、INの頭文字をとって、FBI戦略と呼ぶ）	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		農林水産省 農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略	・FBI戦略の具体化に向け、2013年8月に策定。 ・2020年までに農林水産物・食品の輸出額を1兆円とする目標達成に向け、①水産物、②加工食品、③コメおよびコメ加工品、④林産物、⑤花き、⑥青果物、⑦牛肉、⑧茶の8品目を重点品目とし、それぞれについて、輸出目標金額及び輸出先を定めている。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		農林水産省 日本食・食文化魅力発信プロジェクト	○日本食・食文化普及推進総合対策 ・海外給食事業者等と連携したメニュー開発による日本産食材の活用促進 ・海外主要都市での日本食文化週間や日本食レストランウィークの実施 ・海外メディア等を活用した日本食・食文化の魅力発信 ・海外の料理学校における日本食講座の開設 ・海外の外食事業者団体等が主催する見本市への出展等を支援	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		農林水産省、経済産業省、日本貿易振興機構 ミラノ万博「日本館」	【ミラノ万博】 テーマ：「地球に食料を、生命にエネルギーを」 開催地：イタリア・ミラノ 会期：2015年5月1日から10月31日（184日間） 日本館は「Harmonious Diversity - 共存する多様性 -」をテーマに、農林水産業や食、食文化の多様性を紹介。会期中228万人に上る来場者を迎え、パビリオンプライズでは展示デザイン部門で金賞を受賞。 ・スマートフォンの専用アプリを導入し、展示装置との連動により、来館者に双方向の体験を提供。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
国の検	農林水産省	・日本食・食文化の普及に関する的確なアドバイスと行う「日本食文化親善大使（仮称）」の	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	

テーマ	検討動向			スケジュール								
	種類	名称	検討内容									
討組 織・方 針	日本食魅力発信アキ ョンプラン 10	制度を創設。 ・日本食を積極的に取り扱う日本食レストランを「日本食文化サポーター」として推奨する体制を創設。 ・日本食についての知識・技能の普及を図るため、国が定めるガイドラインに従って、海外の日本食レストランのシェフ等に研修を行い、一定レベルのものに「資格」を付与する制度（海外日本料理技能認定制度）を創設。 ・総理、大臣等が海外出張時、ミラノ万博などのイベントに関し、関係府省と連携して日本食・食文化の魅力発信。 ・外務省、在外公館と連携し、イベントでの日本食・食文化の魅力発信や公邸料理人や海外レストランによる日本食講習会を実施。 ・経済産業省、観光庁、地方公共団体などが実施する海外への日本文化紹介の取組と連携し、日本食・食文化の魅力紹介を複合パッケージとして発信。 ・日本特産、伝統製法、指定された原材料や製造方法によって生産された商品とそうでないものとの差別化を明確にするため、フランスやイタリア等で採用している地中海食品認定ロゴのような日本産商品を認定する仕組みを検討。	左記検討内容の実現。									
	農林水産省 「日本食・食文化の普 及」検討会	・「日本食魅力発信アクションプラン 10」の中で提案された「日本食文化サポーター制度」と「海外日本料理技能認定制度」の創設について検討を行う	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	27年度内に方向性を取りまとめる。		
	経済産業省 クールジャパン戦略	【クールジャパン機構の投資決定事業】 ・日本食コールドチェーン（ベトナム：ホーチミン） 東南アジアで日本食流通の基盤となるコールドチェーンを構築 ・日本食フードタウン（シンガポール） 地域外食ベンチャー等を集約し「集客力」「クオリティ」等で差別化 ・外食産業・日本食の海外展開基盤（欧米豪） 出店ハードルの高い欧米豪の主要都市で、ラーメンダイニング形式の店舗展開を通じ、現地製造具材や日本酒・焼酎等の食の流通網を構築 ・米国における日本茶カフェ（米国） 米国にて日本茶カフェの展開を通じて長崎県産品等の販売	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	平成 27 年 9 月末現在 投資決定案件		
	経済産業省 産業競争力会議	【改革 2020WG】観光立国ショーケース ・現地での出展や日本への招致等による働きかけにより地域の魅力を発信 ・地域の魅力を伝える放送コンテンツの海外展開を支援し、観光需要の増加や地域産品の販路開拓等の波及効果の拡大、日本のイメージ向上を図る。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現		
	国土交通省 観光立国実現に向け たアクション・プログラム 2015	・自治体が、地場産業の活性化を目的として、経済交流を行う際、在外公館施設の広い人脈を活かしたプロモーションを実施。 ・日本の魅力を海外にPRするため、和食、地酒、文化等について、ビジット・ジャパン、クールジャパン施策等が一体となって発信する。 ・東南アジアやヨーロッパにおけるマーケットニーズの高まりに対応し、JNTO の現地プロモーション体制を強化。 ・ミラノ万博へ日本館を出し、日本の食・食文化の魅力を体験型の展示を通じて多面的に発信する。 ・放送コンテンツの海外展開を関係省庁が協力して支援することにより、日本の旅番組や、地方の銘菓や地酒など地域ならではの特産品を紹介する素材等の発信を強化する。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現。		
日 本 国内に おける PR	国の事 業	農林水産省 日本食・食文化魅力 発信プロジェクト	○日本食・食文化普及推進総合対策 ・消費者や食関係者等を対象とした日本食・食文化に係るセミナー・シンポジウムの開催 ○日本の食魅力再発見・利用促進事業 (全国レベルでの国産農林水産物・食品の利用促進) ・民間事業者等における優れた取組の各地での表彰、中食・外食事業者の取組を促進するための情報発信等の実施、国産農林水産物・食品の消費拡大のための国民運動統一ロゴマークの活用促進 ・全国的な消費拡大のためのイベントの開催 (地域の農林水産物の活用推進) ・食のモデル地域における販路開拓、人材育成、商品開発を支援 ・地域における消費拡大の動きを全国に拡大するため、商談会の開催や消費拡大促進フェア等の取組を支援 ・学校給食の食材として地場産農林水産物を安定的に生産・供給するモデル的な取組を支援	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	【プロジェクト全体】 H26 予算 26.5 億円、H26 補正予算（案）3.0 億円、 H27 予算（案）23.6 億円	
	国の検 討組 織・方 針	農林水産省 日本食魅力発信アキ ョンプラン 10	・和食の魅力を次世代に維持・継承していくため、和食給食、和食の日を活用した和食継承の取組を推進するほか、具体的方策の検討を行う和食料理人、学者等による有識者会議を設置する。 ・各府省等とハラルに対応可能な料理人の育成を行うほか、レストランメニューの多言語化を推進する。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
		農林水産省 「食と農の景勝地（仮 称）」検討委員会	・地域の食・食文化を中核として、「食」を育てている気候、風土、景観、歴史等の観光資源と一体的に「景勝地」を形成することで、「地域の食・食文化」を売り込んでいくためのブランドを構築する。「食」を訪ねること自体が観光の目的として、高い価値を有する取組であって、これを推進する地域の協議体が存在するものを「食と農の景勝地（仮称）」として認定する。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2016 年以降認定開始	
		農林水産省 選手村等での料理提 供のための有識者を交 えた勉強会	・大会に関連した日本食・食文化の発信を進めるため、水産物の調達基準や選手村等での料理人や食材の確保（多言語対応含む）等について検討を行う。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	左記検討内容の実現	
		経済産業省 クールジャパン戦略	・日本酒ラベルをスマートフォン向けアプリ（sakefan World）で読み取ることによって、日本酒の付加価値向上に資する PR 情報を多言語で発信するためのアプリの開発・設計。（2015 年 10 月 22 日提供開始） ・ウェブサイト「NIPPON QUEST TM（ニッポン クエスト）」に、紹介したい「ふるさと名物」を投稿し、高く評価されたものを表彰するとともに、見本市での展示や PR イベントを通じて、国内外へ PR することを支援する。（2015 年 8 月 11 日サイトオープン） ・影響力を持つ人材（インフルエンサー）を日本各地に招へいし、地域資源の取材を通じて、地域資源の魅力を海外及び国内に情報発信。	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	アプリ、サイトの提供開始	
		経済産業省 産業競争力会議	【改革 2020WG】観光立国ショーケース ・日本食・食文化と一体となった農山漁村の魅力を世界に発信	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	地域資源の魅力を情報発信 左記検討内容の実現	

テーマ	検討動向			スケジュール						
	種類	名称	検討内容	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
自治体の取組み		国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産品や伝統工芸品に触れながら、買い物を楽しめる、ショッピングエリアをめぐるコースを地方ブロックごとに作成。 ・外国人観光客に訴求する質の高いサービス・商品を選定し、地方ブロックごとのブランドマーク（例、『Japan. Shikoku Brand』）を付与。 ・「食」と農山漁村を結び付けた魅力あるコンテンツの磨き上げやストーリー性を有した情報発信や外国人旅行者の受入環境等を支援。 ・「食と農」を活かした観光地域づくりに取り組んでいる地域を広域観光周遊ルートの農山漁村の魅力あるコンテンツとして取り込み、グリーンツーリズムの振興を図る。 ・地理的表示産品や世界農業遺産の拡大を図り、これらを活用した魅力的な地域づくりの取り組みを「食と農の景勝地」と位置づけ、食の魅力を国内外に発信する仕組みを創設。 ・外国人旅行者受け入れ可能な農林漁村体験民宿に『Japan. Farm Stay』マークを付与し、HP 等を通じて情報発信。 ・フードツーリズムの展開を通して北海道の豊かな食の魅力発信を行うため、ツーリズムに適した素材や課題の把握、ファミトリップの実施、PR 手法の強化等を行う。 ・東北地方の祭り・景勝地・郷土食・地酒等の観光資源について、地域を代表するものを「東北三県見るもの・食べもの・買いもの 100 選」（仮称）として選定し、世界に向け発信する。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		東京都 多言語対応協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭及びホームページにおける店舗案内【観光・サービス分科会】 店頭への多言語メニューや写真の掲出、ディスプレイの設置、店舗等のホームページへの写真付き多言語メニューの掲出等の対応 ・メニュー・券売機等への表示の充実【観光・サービス分科会】 日本独特の調味料、葉味、料理の食べ方、お通し等の文化についても表示。 ムスリム旅行者への対応については、「ムスリム旅行者おもてなしハンドブック」（平成 26 年 10 月 産業労働局）等を活用し対応 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・県産農林水産物の魅力発信 海外からの観光客に向けて、県産農林水産物の魅力を発信し販売促進を図る。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン2020	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川の食材やそれらを使用した「和食」、「郷土食」を提供する店・人など、神奈川の食全体の魅力を海外に PR する。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
国の事業		外務省 飯倉公館活用対外発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外務大臣と自治体首長等の共催で、飯倉公館でのレセプションを開催し、海外とのネットワークの構築を図るほか、地場産品・観光資源等のプロモーションを実施。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		日本貿易振興機構 (ジエトロ) 地域貢献プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体等と連携した地域の中堅・中小企業の海外展開等のモデルとなるプロジェクトを支援。 ※2015 年 1 月に 11 件の案件を「地域貢献プロジェクト」として認定。今後も追加採択を行う予定。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		日本貿易振興機構 (ジエトロ) 展示会・商談会への出展支援	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の見本市や展示会において、ジエトロが「ジャパンパビリオン」を設置し、中堅・中小企業の参加のために出展ブースの確保、展示企画・運営、出品物の通関規制に関する情報提供、広報などを実施 ・ジエトロ HP で、世界中の見本市情報を検索できるサービス（J-messe）を提供。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		農林水産省 日本食・食文化魅力発信プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○日本食・食文化普及推進総合対策 ・海外の外食事業者団体等が主催する見本市への出展等の取組を支援。 ・日本の外食産業の海外進出に向け、出店希望企業の派遣や仮店舗出店を支援。 ・企業の海外進出の当たっての現地における日本食材の調達ルート及びニーズなど後方支援に係る調査を支援。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
海外販路開拓拡大	国の検討組織・方針	農林水産省 日本食魅力発信アクションプラン 10	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に進出する外食事業者を支援するため、事業可能性検証や有望市場情報の提供等を実施。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		経済産業省 クールジャパン戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・海外販路開拓や海外向け PR に関する知見等を有するプロデューサーを全国に派遣する等により「ふるさと名物」を発掘し、海外販路開拓のためのネットワーク構築、海外向け PR 及びマーケティングを支援。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		国土交通省 観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるモノ・サービス・食の提供に取り組む現地日系企業や政府関係機関（国際交流基金、日本貿易振興機構（以下、JETRO）等）とコンソーシアムを形成し、日本ブランド全体を売り込む直接的で強力なプロモーションを展開。 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
自治体の取組み		(一財)自治体国際化協会 (CLAIR) 「日本ふるさと名産食品店」	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの自治体手軽に参加でき、地元企業の海外展開支援の場を提供すべく、海外販路開拓支援事業として地域産品のテストマーケティングを行う「日本ふるさと名産食品展」を平成 22 年度からクリアが主催している。 日本からの農林水産物・食品の世界最大の輸出先である香港や富裕層・中間層が多く、日本食の人気の高いバンコクで実施している。 【平成 22 年度上海、23、24 年度香港、25、26、27 年度香港、タイ・バンコク】 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		(一財)自治体国際化協会 (CLAIR) 海外販路開拓支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の海外販路開拓に対するニーズの高まりを受け、海外事務所等の機能を活用しながら地方公共団体の国際化支援のため、助成とサポートが一体となった事業を平成 22 年度から実施。 【助成の対象団体】 ・都道府県、市区町村 【対象となる事業】 ・地方自治体が企画をするなど、事業に直接関与している海外販路開拓事業で、将来的に経済効果が見込まれ、他の地方公共団体の取組の参考となることが見込まれる事業 	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021

3.オープンデータにより提供できるサービス

活用シーン	名称	サービス例	活用するオープンデータ
日本に関心をもってもら	海外見本市情報を通じて PR	海外見本市等のイベント情報がオープンデータとなることで、各国で実施されるイベント情報を提供できる機会が増え、 実際に日本食を味わってもらうことで、来日する動機付けに繋げることができるようになる。	海外見本市情報
	海外のメディアやブロガーを通じた海外への情報発信	海外のメディアやブロガーを地域で実施されるイベントや商談会に呼び込み、 海外メディアやブロガーが発信するブログやコメントがオープンデータとなり流通することで、和食の魅力を発信すること可能になる。	ブログやコメント情報
	個人が発信する情報による PR	日本で気に入った和食料理店や日本食材を投稿できるアプリを設け、 書きこまれた感想を見た人に対して、和食・日本食文化を PR できるようになる。	多言語対応した飲食店情報、位置情報 日本食材に関するコメント情報等
日本への旅行計画を立てる	「食」育む気候、風土、歴史等の観光資源と一体的に食文化を PR	地域の「食」を中心として、文化、景観に関する様々な情報がオープンデータ化することにより、 自由に編集・翻訳され、アプリ等を通じ、訪日外国人に地域の魅力を一体的に PR することができる。	伝統的かつ特徴的な地域農産品情報 景観情報 地域の歴史に関する情報 観光情報 宿泊施設情報
	体験型イベントを通じた PR	日本食に関する体験型イベント情報（外国人向け料理情報、寿司握にぎり体験など）がオープンデータ化することで、 ガイドブックには載っていない情報も得ることができ、満足度を高めることができるようになる。	多言語対応した体験型イベントデータ
	地方特産物を通じた PR	地方の魅力的な特産物等に関する情報がオープンデータとなることで、 交通アクセスの悪い地域でも興味をもってもらい、その地方の特産物を PR することができ、観光客を増やすことにもつなげることができるようになる。	地域の名産品 日本酒蔵情報 ワイナリー情報 朝市、農産物直売所情報
訪日中	使用言語に対応できる飲食店を紹介	訪日外国人の国籍、使用言語などの利用者情報を登録することにより、 利用者の使用言語に応じた飲食店情報を提供することが可能 となる。	多言語対応した飲食店情報、位置情報
	日本食の作法に関する情報提供	日本料理店における作法がオープンデータとなることにより、 外国人にとってわかりにくい日本食の作法（箸の使い方など）に関する情報を提供 することができる。	日本の作法に関するデータ
	飲食店情報を様々な言語で情報提供	多言語対応した飲食店などがオープンデータとなることで、 自由に編集・翻訳され、使用人口の少ない言語へ対応するアプリが作られることが期待できる。	多言語対応した飲食店情報、位置情報
	ハラル、ベジタリアンに応じた飲食店情報を提供	多言語対応が可能で、ハラルやベジタリアンに対応した飲食店情報がオープンデータとなることで、 個人の国籍、言語、宗教、嗜好に応じた情報を提供 できるようになる。	多言語対応した飲食店情報、位置情報 ハラル、ベジタリアンに対応した飲食店情報
	利用者にカスタマイズされた情報を提供	アプリ利用者に関する情報（国籍、使用言語、宗教、嗜好、訪日回数、検索内容、旅行日程）に応じて、 おすすめ情報（飲食店情報、イベント情報など）を提供 できるようになる。	多言語対応した飲食店情報、位置情報 多言語対応した体験型イベントデータ
訪日中	複数の情報を組み合わせることによる PR	飲食店情報、乗り換え案内、道路情報などの情報がオープンデータ化されていることで、これらの情報を組み合わせることにより、 現在地からの行きたい飲食店までのルート及び所要時間を表示することで、ストレスを感じることなく、移動から食事まで楽しむことができるようになる。	多言語対応した飲食店情報 飲食店の位置情報 路線情報 道路情報
帰国後	各国の日本食レストラン情報の活用	各国の日本食レストラン情報や日本食材を扱う店舗情報などがオープンデータとなることで、 日本から帰国した後も和食・日本食に関する情報にアクセス することを容易にする。	日本食材を積極的に取り扱う日本食レストラン情報 海外日本料理技能認定資格取得者のいるレストラン情報 海外での物産展情報
	和食のアルバム情報の活用	訪日時に食した和食や日本食に関する写真が、 オープンデータとなり、広く流通することで、日本に興味をもつ人々に対して、情報発信 できるようになる。	和食、日本食の写真データ
	ブログ、SNS 情報による PR	訪日時の和食や日本食文化に関する ブログや SNS への書き込みなどの情報を集約 することで、日本に興味を持っている人や日本を訪れたいと思っている人々へ魅力を発信することができるようになる。	ブログやコメント情報

4.実現に向けた課題とマイルストーン

4.1.マイルストーン

